



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 九州リースサービス  
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤丸 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 檜垣 亮介

TEL 092-431-2530

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,866	1.0	1,907	37.6	1,840	40.2	1,290	54.0
26年3月期第2四半期	9,765	3.3	1,386	20.0	1,313	18.3	838	27.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,736百万円 (53.4%) 26年3月期第2四半期 1,132百万円 (76.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	52.39	
26年3月期第2四半期	34.02	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	121,360	20,048	16.3
26年3月期	123,046	18,499	14.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 19,799百万円 26年3月期 18,264百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		0.00		7.50	7.50
27年3月期		0.00			
27年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,000	0.8	2,600	9.0	2,400	8.9	1,300	7.7	52.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	28,143,374 株	26年3月期	28,143,374 株
期末自己株式数	27年3月期2Q	3,509,914 株	26年3月期	3,507,814 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	24,634,804 株	26年3月期2Q	24,636,922 株

(注) 当社は、当第2四半期連結累計期間より「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております。自己株式数については、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(1,200,000株)を含めて記載しております。

## 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
営業資産残高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動などの影響から生産面を中心に弱めの動きが見られるものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を目指し、新たに複数の銀行とビジネスマッチング業務に関する業務提携を行うなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は9,866百万円（前年同期比1.0%増）となり、資金調達コストの低減や貸倒引当金の戻入などにより、営業利益は1,907百万円（前年同期比37.6%増）、経常利益は1,840百万円（前年同期比40.2%増）となりました。また、四半期純利益につきましては、繰延税金資産の増加などにより1,290百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①リース・割賦

リース・割賦の営業資産残高は増加いたしました。前年同期に大口の物件売却収入が計上されていた影響などにより、売上高は5,098百万円（前年同期比12.1%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、残高増加に伴う収益増加などにより、605百万円（前年同期比4.8%増）となりました。なお、リース債権及びリース投資資産残高は30,739百万円（前期末比3.4%増）となり、割賦債権残高は11,394百万円（前期末比9.1%増）となりました。

#### ②融資

新規実行高の減少や期限前回収の発生などによる営業貸付金残高減少に伴い、売上高は523百万円（前年同期比11.8%減）となりました。一方、貸付金残高減少による貸倒引当金の戻入が発生したことにより、セグメント利益（営業利益）は380百万円（前年同期比31.7%増）となりました。なお、営業貸付金残高は19,826百万円（前期末比9.2%減）となりました。

#### ③不動産

不動産売却収入の増加により売上高は3,477百万円（前年同期比25.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は923百万円（前年同期比56.8%増）となりました。なお、賃貸不動産残高は35,395百万円（前期末比0.5%減）、販売用不動産残高は2,545百万円（前期末比25.1%減）となりました。

#### ④フィービジネス

売上高は249百万円（前年同期比7.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は111百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は121,360百万円（前期末比1.4%減）と前連結会計年度末に比べ1,685百万円の減少となりました。これは主に営業貸付金の減少2,005百万円などです。

負債合計は101,311百万円（前期末比3.1%減）と前連結会計年度末に比べ3,234百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少2,683百万円などです。

純資産合計は20,048百万円（前期末比8.4%増）と前連結会計年度末に比べ1,549百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加1,105百万円、その他有価証券評価差額金の増加430百万円などです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,690百万円減少し13,360百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、収入面では営業貸付金の減少1,915百万円、販売用不動産の減少848百万円などが主要なものであり、また、支出面では割賦債権の増加855百万円、リース債権及びリース投資資産の増加799百万円などが主要なものであり、全体では2,830百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1,172百万円の収入減となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入97百万円、社用資産の取得による支出17百万円などが主要なものであり、全体では76百万円の資金流入となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入11,694百万円、長期借入金の返済による支出12,977百万円、短期借入金の減少1,400百万円、社債の償還による支出1,727百万円などが主要なものであり、全体では4,598百万円の資金流出となり、前連結会計年度に比べ1,495百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、当初予想を上回ったものの、先行きの経済環境が不透明であるため、通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は平成26年6月27日開催の株主総会決議に基づき、平成26年9月1日より当社取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する新たな業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」を導入しております。また、平成26年8月8日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月24日より一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本制度」という。)

#### (1) 取引の概要

当社は本制度の導入に際し、「役員株式給付規程」及び「従業員株式給付規程」を新たに制定いたしました。当社は、これらの規程に基づき将来給付する株式を予め取得するために、信託銀行に金銭を信託し、信託銀行はその信託された金銭により当社株式を取得いたしました(以下、「本信託」という。)。なお、本信託が取得した当社株式については信託財産として分別管理しております。

「役員株式給付信託(BBT)」は、役員株式給付規程に基づき、役員に業績達成度等に応じてポイントを付与し、そのポイントに応じて、原則として退任時に役員に株式を給付する仕組みです。また、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」は従業員株式給付規程に基づき、従業員に会社業績等に応じてポイントを付与し、そのポイントに応じて、原則として退職時に従業員に株式を給付する仕組みです。

なお、当社は「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用し、本制度に関する会計処理としては、本信託の資産及び負債を当社の資産及び負債として貸借対照表上に計上する総額法を採用し、本信託が所有する当社株式を四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しております。

また、当第2四半期連結累計期間において、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」導入に伴う過年度退職給付費用134百万円を特別損失として計上しております。

#### (2) 信託に残存する自社の株式

当第2四半期連結会計期間末において、本信託が所有する当社株式の帳簿価額は338百万円、また、株式数は1,200,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,057	13,366
割賦債権	10,443	11,394
リース債権及びリース投資資産	29,725	30,739
営業貸付金	21,832	19,826
賃貸料等未収入金	298	278
有価証券	120	-
販売用不動産	3,396	2,545
その他	1,165	1,459
貸倒引当金	△1,611	△1,421
流動資産合計	80,427	78,187
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	35,562	35,395
その他(純額)	769	723
賃貸資産合計	36,331	36,119
社用資産	968	902
有形固定資産合計	37,300	37,021
無形固定資産		
投資その他の資産	158	142
投資有価証券	3,680	4,567
その他	1,491	1,452
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	5,160	6,008
固定資産合計	42,619	43,173
資産合計	123,046	121,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,575	2,004
短期借入金	37,389	35,214
1年内償還予定の社債	4,807	3,579
未払法人税等	126	462
引当金	117	125
その他	2,521	2,476
流動負債合計	46,538	43,861
固定負債		
社債	5,200	4,701
長期借入金	44,839	44,331
引当金	67	79
退職給付に係る負債	246	398
資産除去債務	92	93
その他	7,560	7,846
固定負債合計	58,007	57,449
負債合計	104,546	101,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	819	821
利益剰余金	14,924	16,030
自己株式	△984	△987
株主資本合計	17,693	18,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	586	1,017
繰延ヘッジ損益	△15	△16
その他の包括利益累計額合計	571	1,000
少数株主持分	234	249
純資産合計	18,499	20,048
負債純資産合計	123,046	121,360



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,765	9,866
売上原価	7,297	7,007
売上総利益	2,467	2,858
販売費及び一般管理費	1,080	951
営業利益	1,386	1,907
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	35	37
投資有価証券売却益	20	-
その他	32	10
営業外収益合計	99	60
営業外費用		
支払利息	105	87
支払手数料	60	25
その他	6	13
営業外費用合計	172	126
経常利益	1,313	1,840
特別利益		
賃貸不動産売却益	37	-
特別利益合計	37	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4
過年度退職給付費用	-	134
特別損失合計	-	139
税金等調整前四半期純利益	1,351	1,701
法人税、住民税及び事業税	111	469
法人税等調整額	380	△75
法人税等合計	491	393
少数株主損益調整前四半期純利益	859	1,307
少数株主利益	21	17
四半期純利益	838	1,290

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	859	1,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	282	430
繰延ヘッジ損益	△9	△1
その他の包括利益合計	272	429
四半期包括利益	1,132	1,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,110	1,719
少数株主に係る四半期包括利益	21	17

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,351	1,701
減価償却費	492	461
賃貸不動産売却損益(△は益)	△37	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	58	△99
引当金の増減額(△は減少)	12	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	151
受取利息及び受取配当金	△46	△49
資金原価及び支払利息	738	570
投資有価証券売却損益(△は益)	△20	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	4
割賦債権の増減額(△は増加)	△288	△855
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△793	△799
営業貸付金の増減額(△は増加)	2,085	1,915
販売用不動産の増減額(△は増加)	353	848
賃貸資産の取得による支出	△461	△494
仕入債務の増減額(△は減少)	431	428
賃貸資産の売却による収入	564	312
その他	349	△640
小計	4,788	3,474
利息及び配当金の受取額	46	51
利息の支払額	△730	△562
法人税等の支払額	△101	△133
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,002	2,830
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	-	6
社用資産の取得による支出	△32	△17
無形固定資産の取得による支出	△17	△3
投資有価証券の取得による支出	△262	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	171	97
その他	△19	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166	76
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,891	△1,400
長期借入れによる収入	14,188	11,694
長期借入金の返済による支出	△18,047	△12,977
社債の償還による支出	△942	△1,727
自己株式の取得による支出	△0	△339
自己株式の処分による収入	-	338
配当金の支払額	△184	△184
その他	△7	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,102	△4,598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	733	△1,690
現金及び現金同等物の期首残高	15,065	15,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,798	13,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,797	594	2,780	268	9,441	323	9,765	—	9,765
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,797	594	2,780	268	9,441	323	9,765	—	9,765
セグメント利益 又は損失 (△)	578	288	588	121	1,577	△23	1,553	△166	1,386

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場の管理経営、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額△166百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,098	523	3,477	249	9,350	516	9,866	—	9,866
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,098	523	3,477	249	9,350	516	9,866	—	9,866
セグメント利益	605	380	923	111	2,021	26	2,047	△140	1,907

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△140百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報  
営業資産残高

セグメントの名称	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日)		(参考) 前第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦						
ファイナンス・リース	29,725	30.1	30,739	31.2	26,730	28.4
オペレーティング・リース	769	0.8	723	0.7	647	0.7
リース計	30,494	30.9	31,462	31.9	27,378	29.1
割賦販売	10,443	10.6	11,394	11.6	10,990	11.7
リース・割賦計	40,938	41.5	42,856	43.5	38,369	40.8
融資	21,832	22.1	19,826	20.1	18,465	19.7
不動産						
オペレーティング・リース	35,562	36.0	35,395	35.9	36,577	38.9
その他	339	0.4	550	0.5	576	0.6
不動産計	35,901	36.4	35,945	36.4	37,153	39.5
合計	98,672	100.0	98,628	100.0	93,988	100.0